

C1 「機械の安全原則・倫理・法令」 講座
災害事例，技術者倫理，機械安全に係る国内法令，機械安全原則

1. ねらい

機械の安全化を推進していこうとする機械設計技術者、電気・制御設計技術者、機械のインテグレータ、機械ユーザの生産技術担当者と管理者に、機械安全に関する法令、規格、リスクアセスメント実施の知識や進め方等を解説します。

現場の機械安全推進に必要な基本的な知識/技術が習得でき、現場の機械安全推進にとっても有益です。

機械の安全の考え方は国際的に確立しています。それらを具体的に・分かり易く解説します。講義では、安全について基本的な考え方、安全確認型システムと危険検出型、本質安全、停止と隔離による安全原則、安全を論理的に立証する方法、用語などを解説します。さらに、機械が関わる労働災害の状況・事例説明、設計技術者として持ち合わせるべき技術者倫理とコンプライアンス、国内の関係する法令と機械安全との関係を解説します。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 2023年 9月 6日（水） 受付：9時15分（接続開始 9時00分）
- 開催場所 オンライン Zoom を使用します
職場の自席，リモートワーク場所，別室，など
- 定員 名

3. プログラム

時刻	時間 (分)	講義 No.	内容	講師，備考
9:30 ~ 9:40	10		オリエンテーション	
9:40 ~ 10:40	60	1	第1章 技術者倫理とコンプライアンス 労働災害，機械災害の現状と災害事例 技術者倫理，法令遵守（コンプライアンス）	保科
10:40 ~ 10:50	10		休憩	
10:50 ~ 11:50	60	2	第2章 関係法令 なぜ労働安全衛生法を学ぶのでしょうか 機械安全に係る労働安全衛生法の体系と概要 機械による労働災害の低減を図る施策	保科
11:50 ~ 12:50	60		昼食・休憩	
12:50 ~ 13:50	60	3	第3章 機械の安全原則 安全とは 産業災害を無くす為の多くの努力と国際規格 安全確認型と危険検出型	梶岡
13:50 ~ 14:00	10		休憩	
14:00 ~ 15:00	60	4	(続き) 本質安全，隔離による安全，停止による安全 安全に関する国際規格の構築，JIS規格，国内法令と指針	梶岡
15:00 ~ 15:10	10		休憩	
15:10 ~ 15:55	45	5	第4章 安全関連用語の定義とその一部解説 安全関連用語の解説	保科
15:55 ~ 16:20	25	6	演習問題と解答，質疑応答	梶岡
16:20 ~ 16:30	10		終了・退室	

本講習会Cコースは、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。

* C1, C2, C3, C4, C5の全講座の受講者に受講証明書（出席を証する文書の提出があれば修了証）を発行します。

4. 講師 当会講師